

事業内容詳細

- 1 事業名 オフィスビル向け弁当、ドリンク販売でのリユース容器使用による資源循環実証事業
- 2 応募者名 株式会社 Circloop
- 3 内容

(1) 目的・位置付け

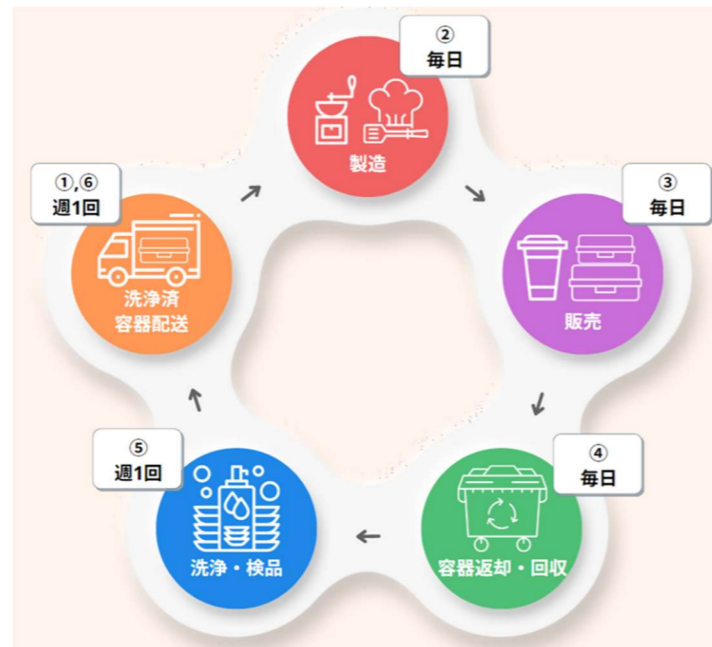
- ✓ 2022年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されるなど、日本における資源循環の動きは加速する一方、日常生活では資源循環の取り組みは不十分で、特に飲食業界は多くの使い捨て容器を使用・排出
- ✓ 特にオフィスビルはランチ時間帯のお弁当需要、一日を通してのコーヒー需要が高い場所だが、飲食後の容器がきちんと分別されないまま廃棄されており、資源循環を阻害している
- ✓ 本事業は、東京都内のオフィスビルで、繰り返し使えるリユース容器での弁当、ドリンク販売を行い、オフィスからの使い捨て容器廃棄量削減、資源循環確立を目指す

(2) 実施内容

- ✓ 渋谷区に事業所を構える企業のオフィスにて弁当販売を、港区に事業所を構える企業のオフィス併設のカフェにてドリンク販売を、それぞれオフィス従業員向けにリユース容器を使用して実施
- ✓ 実施時期は2022年11月～12月の間で4週間(土日祝日を除く20日間)を予定。各事業所1日10個～20個、リユース容器での弁当、ドリンク販売を行う

【実施の流れ】

「①Circloop(本事業主体)が洗浄・検品済みの清潔な容器を飲食店に配送」→「②飲食店が弁当、ドリンクを製造」→「③飲食店がオフィスビルで弁当、ドリンクを販売」→「④従業員が飲食後、オフィス内の回収ボックスに容器を返却、Circloopが容器を回収、予備洗浄実施」→「⑤Circloopが洗浄・検品実施」→「⑥再びCircloopが飲食店に清潔な容器を配送」(①,⑤,⑥は週1回、②～④は毎日実施。商用展開時は⑤の洗浄・検品も毎日実施)



(3) 取組実績

- ✓ 2022年8月22日～2022年9月16日の期間(土日祝日を除く20日間)で初回の実証実験を実施。1日10食前後の弁当を販売し、以下、3つの観点を検証。
 1. 業務オペレーションが成立するかの確認と改善点洗い出し
 2. 容器回収率など主要 KPI の計測
 3. 各ステークホルダの反応(事業に関する定量、定性評価)

(4) 本事業で期待される効果

- ✓ リユース容器の活用を通じて、容器の使い捨てをなくし、資源循環を実現
- ✓ 資源循環の垂直立ち上げに向けて、以下3点の優位性を確立する
 1. 大規模に容器が利用されるオフィス需要をターゲットとした展開
 2. シェアレストラン(飲食店間借り)を活用、洗浄能力のスケール性確保
 3. 飲食店向け導入メリット提供(容器費用削減、回収・洗浄の運用不要)

(5) 実施体制と各社役割

